



日本生絲商會創立趣意書 關社則

未定稿

948

947



414
A1103



日本生糸商會創立趣意書

物産ヲ興シ輸出ノ隆昌ヲ謀ルハ方今ノ急務ナリ況ヤ
 生糸ノ如ク歐米諸國ノ必需必要スルモノヲヤ然ルニ
 本邦凡百ノ事蹟ヲ回想スレバ開港以來ニ改良シ以テ
 其便利ヲ見ルモ多シト雖生糸賣込ノ商業ハ外交
 未タ熟セザルノ際竊カニ其端ヲ開キタル儘ニシテ開
 明ノ今日ニ至ルモ之ヲ一新矯正スルノ舉ナシ是實地
 此業ニ與ル有志者ノ多年倦々憂テ己マザル所ナリ然
 レモ此大變革ヲ行ハントスルニハ巨額ノ資本金ヲ備
 ハテ一大商會ヲ起シ資力ト規則トヲ以テ之ヲ施行ス
 ルニ非ハ果シ難キナリ故ニ茲年今年ニ至リテ
 テ其結果ヲ得ガリキ又テ舊慣ヲ改メガレモ本邦
 リ輸出スル諸物産中ニテ最モ許ナリモノハ生糸ナリ

大正十一年四月

レバ現在此業ニ與ラサル
ニ是ガノ隆昌ヲ極メラ
ガレニナキニ非ルベシ是今
テ此大變革ヲ行フノ舉ナキ
ルニ新然勇決以テ此舉ヲ起
過ルモ何レノ日ニカ大成ヲ
ノ志士ヲ募リ衆カヲ懷セテ
イニ舊習ヲ一洗シテ國益ノ
慣ノ儘ニミラスノ我が輸出
ナレバ此商業上ニ於テ應分
爾スルニユレハ愈遺策ナキ
ナラシム疑ヲ容ラス夫外國
テ外商ニ販賣スルモ等シク
テ外高ニ販賣スルモ等シク

人ニ屬スベキノ利益ヲ外高
テ始テ我が高權ハ彼我對等
ハケレバ其内ヲ固クスルヲ
為ス然面シテ支店ヲ便宜ノ
テ製糸ノ繁殖ヲ謀リ尙為換
シ若シ賣込ノ時宜ヲ得ザル
テ貸金ヲ為シ以テ時宜ノ至
品格ノ檢査ヲ精密ニシテ信
サズニテ輸出ノ盛大ヲ極メ
營業ハ年中連續ノモノニ非
合併シ諸貨物ヲ倉庫ニ預リ
資本中ニ遊金アルキ
金ヲ為シ以テ常ニ其徒遊ス

シテ繁榮ナラシメテ我ガ貿易家ノ
 權利ノ進メ以テ愛國志ヲ
 涵望スルコト内閣
 ノ出テ減省シ外國財ノ入ヲ増加スル
 目的ヲ達セン
 一是余等ノ主義トナル所ナリ因テ茲ニ有志相結盟シ
 日本生糸商會ノ設立ヲ發起シテ社則ヲ定ムル左ノ如
 シ

日本生糸商會社則

第一條 本商會ノ名ヲ「日本生糸商會」と稱スベシ

第二條 本商會ハ横濱、
 、、、、
 各地ニ設置スベシ

第三條 本商會支店ノ名ヲ「日本生糸商會支店」と稱スベシ

第四條 本商會ノ支店ハ東京其他便宜ノ地方ニ取建
 ツベシ

第五條 本商會ノ營業ハ尤ノ如シ
 一 生糸及ビ同質物製生糸及皮等ヲ本商會ノ検査ヲ
 經テ上賣買取所ナサハル事

一 生糸及ビ同質物ノ
 次グ事
 一 本商會ノ株主ニ限リ製
 一 本金ヲ貸ス事

一 生糸及び同質物ヲ抵當
 一 生糸及び同質物ノ爲メ
 貸ス事
 受テ其代價ノ内金ヲ

一 生糸及び同質物ノ荷爲換テ取組ム事
 一 生糸及ビ同質物ハ之ヲ横

濱倉庫會社ノ倉庫ニ貯藏スル事
 一 横濱倉庫會社ニ於テ發行スル諸貨物ノ預リ手形

ヲ抵當トシテ貸金ヲ爲ス事
 但生糸管業ノ爲メニ餘金ナクハ之ヲ謝絶ス
 ルヲアルベシ

第六條 本商會營業ニ用ル所ノ印章ハ左ノ如シ

日本
生糸
商會

日本
生糸
商會
印

日本
生糸
商會
印

第七條 本商會ニ收受スル生糸及ビ同質物ノ賣買取
 引ニ於ケル手数料ハ其代價ノ千分ノニ當ル金高
 タルベシ

第八條 生糸及ビ同質物ノ注文取次ニ於ケル手数料
 ハ其代價ノ千分ノニ當ル金高タルベシ

第九條 問屋ノ口銭ハ依頼ノトノ示談ニ任スト雖
 本商會ニ收受スル手数料ニ應ジテ之ヲ取極メ前以

第十條 諸貸付金ノ利率ハ千
 分ノ割合ヨリ多カラズタルベシ
 一 割合ヨリ少カラス

第十一條 本商會ノ資本金ハ五百圓ニシテ百圓ヲ以テ一株式ト爲シ總計五百株式ト定ム

第十二條 本商會株式主ナルモノハ其引文タル株式賣個ニ付券状を通テ渡スベシ

但美雛形丸ノ如シ

第、弐、節

日本生糸商會株式券状

行 縣 下、、國、、郡、、區、、村、、町、、

儀當商會ノ社月ヲ守シ明治 年何月、日ヨ

リ日本生糸商會株式ノ内金名円即チ是株式ノ株

主々、一、無相違ニ採トシテ此株式券状ニ當商

會ノ印章ヲ押捺シ之ヲ付與スルモノ也

此株式券状ヲ賣買譲與セント欲セハ當商會ハ

表

持券スベシ商會ニ於テハ至當ノ検査ヲ遂ゲ此券状裏面枠内ハ頭取監督記名調印ノ上之ヲ差

庚スシ

日本生糸商會頭取

明治、年、月、日

姓名印

同、台、監、部、長

姓名印

同、監、察、部、長

姓名印

面

日本生糸商會

表

年月日

賣渡人記名調印

買受人記名調印

頭取記名調印

監督記名調印

為檢方

貸附方

第十四條 本商會ノ取締役ハ三十拾株以上ヲ所持スル株主ノ内ヨリ投票ヲ以テ公撰ス而シテ此撰ニ當リル取締役ハ協議ノ上頭取一人及ヒ營業部長一人監察部長一人ヲ撰任スベシ

第十五條 頭取及ヒ取締役ノ在職年限ハ一ケ年間タルベシ故ニ第十六條ノ故ヲ以テ放免スルノ外ハ必ス勤務スベシ

第十六條 頭取及ヒ取締役タル者ニ適當ノ行為アル片ハ株主臨時會議ヲ以テ無名投票ヲ以テ三分ノ二以上ノ説ニ從ヒ之ヲ退職セシムベシ

第十七條 頭取ハ諸役員ヲ任免シ及ヒ其給料ヲ定ムル

ノ権アルベシ

第十八條 頭取ハ商會營業ノ全体ヲ總管シ一切ノ事務ヲ處分スルノ権アルベシ

第十九條 營業部長ハ商會上一般ノ事務ヲ總轄シ及ヒ頭取ニ對シ營業部全般ノ事務ヲ負擔スルノ責ニ任ズ

第二十條 監察部長ハ監察上一般ノ事務及ヒ出納計算ヲ總轄シ及ヒ頭取ニ對シ監察部全体ノ事務ヲ負擔スルノ責ニ任ズ

第二十一條 取締役ハ每週一回又ハ臨時ノ集會ヲ為シ商會營業上ノ要件ヲ議定シ又常ニ營業ノ全体ニ注意シテ其事ヲ頭取及ヒ兩部長ニ謀ルノ権アリトス

第二十二條 支配人及ヒ監督ノ事ヲ頭取及ヒ部長ニ受ケ

各係リノ事務ヲ引受ケ其擔當ノ制限ニ依リ頭取及
ビ部長ニ對シ之ヲ整理スルノ責ニ任ス

第廿三條 本商會營業ノ堅確ナルヲ保全スル為メニ保

主中ヨリ(役員ノ外ニテ)商議委員ヲ撰任シ隔月ニ一
回ヅ、會議ヲ為スベシ

第廿四條 本商會ノ問屋ハ一株以上ノ株主ニ限ルト雖

モ一株以上ノ株主ヨリ保証スル片ハ此限ニ非ス

第廿五條 本商會ノ總勘定ハ毎年一月七月ノ二季ニ於

テ精算ヲ為シ收支決算ノ上益金ハ株主協議ノ上之
ヲ處分スベシ

第廿六條 本商會ノ社則及ヒ營業ニ関スル一般ノ諸規

則ハ株主ノ協議ヲ以テ加除更正スルヲ得ヘシ

右ノ條々株主等ノ衆議ヲ以テ相定メ候ニ付各記名調

印致候也

